

## 平成30年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	都市魅力部
部(局)長名	畑澤 実
理事名	原山 葉子 (シティプロモーション担当)

### 【基本姿勢】

社会経済情勢の変化や経済のグローバル化による競争激化など、事業者を取り巻く状況が大きく変化してきている経済状況において、中小企業の経営基盤を強化して経済の活性化を図ることが、まちのにぎわいを生み出す源です。それを推進していくために、「吹田市商工振興ビジョン2025」に基づく、基本理念及び基本方針の実現に向けた取組を進めます。

我が国は、平成20年(2008年)をピークに人口減少の時代に突入しており、総人口の減少と同時に少子高齢化が急速に進行するといわれている中、本市の人口は、住宅の再開発を背景に現在も微増しています。

しかし、本市においても少子高齢化は着実に進み、いずれは人口が減り始めることが予測されることから、吹田市シティプロモーションビジョンに基づき、持続的なまちの発展に向けて、まず今住んでいる市民に「住み続けたい」「このまちに住んで良かった」といった市への愛着や誇りが醸成されるよう効果的なシティプロモーションに取り組みます。

また、来年は吹田まつりが第50回を迎えます。翌年の平成32年(2020年)には、日本万国博覧会が開催されて50周年を迎えるとともに、本市にとって市制施行80周年の区切りの年であり、プレ企画も含め愛着や誇りが醸成されるような周年事業となるよう検討していきます。

健康寿命延伸を図るための運動の習慣化に向けた支援やスポーツを通して感動を体験できる取組を進め、生涯スポーツ社会の実現に努めます。

また、伝統文化、地域文化の担い手を育成するための取組を推し進めるとともに、「吹田市多文化共生推進指針」に基づき、外国人市民にとっても暮らしやすい社会の実現に努めます。

### 【達成度について】

- A：達成 (設定した目標を達成することができた。)  
 B：一部達成 (設定した目標の一部のみ達成することができた。)  
 C：未達成 (目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。)

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	地域経済の循環及び活性化による都市活力の創造	A
2	商店街等の活性化	A
3	シティプロモーションの推進	A
4	情報発信プラザ(Inforestすいた)を拠点とした都市魅力の発信	A
5	吹田まつり	A
6	大学連携	A
7	生涯スポーツ社会の実現	B
8	(仮称)吹田市文化芸術推進基本計画の検討	B
9	文化芸術の振興	A
10	多文化共生社会の実現	A

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 1	地域経済の循環及び活性化による都市活力の創造
--------	------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	産業の振興は中小企業者の発展を基に進めていくことが重要な要因であり、産業の土台を支える中小企業の事業活動の維持、拡大を図る取組を進めます。
---------------------	---

活動目標	具体的な取組実績
産業施策の指針となる「吹田市商工振興ビジョン2025」に基づいて、各施策の進捗管理及び検証を確実に機能させて、産業振興につながる取組を進めます。	ビジョンの各施策のアクションプランについて、吹田市商工業振興対策協議会で意見を伺いながら、検証シートに基づき進捗管理を行い、ビジョンの実現に向けた取組を進めました。
中小企業全体の事業活動の発展を促進することが、産業振興につながることから、国の支援施策とも連携して中小企業の活性化を支援する取組を進めます。	中小企業の事業活動の維持、拡大を図るために、企業訪問等において本市の支援策の周知及び活用実績につながる取組を進めました。また、国の生産性向上特別措置法に基づき、吹田市の「導入促進基本計画」を策定し、中小企業の実業性向上のための支援を行っています。
産業振興の重要な位置づけである企業誘致を推進することにより、さらなる産業集積の維持及び拡大を図り地域経済を活性化させるために、本市の企業誘致施策をはじめ、国や大阪府の施策とも連携して誘致を促す制度の活用を努めます。	企業立地促進条例について、本市における事業所の立地環境により応じた制度とするため、条例改正を行って対象地域を拡大し、企業訪問等で周知及び企業動向等の情報収集に努めました。また、国や大阪府とも連携して情報収集に努めています。
JOBナビすいたを拠点として、生活困窮者自立支援センターなど関係機関と連携し、就職困難者をはじめとする求職者に対し、就職相談、企業説明会・面接会、セミナーの開催や市内企業への職業紹介など、きめ細かな就労支援を行い、雇用と定住の促進を図ります。 また、勤労者会館につきましては、改修工事に向けた今後の予定など利用者への周知を図ってまいります。	JOBナビすいたをはじめとする地域就労支援事業においては、就職困難者をはじめとする求職者に対し、個々の状況や課題の整理を行うとともに、生活困窮者自立支援センターやぷらっとるーむ吹田など関係機関との連携も図りながら、きめこまやかな支援に努めました。 勤労者会館については、改修工事を延期いたしました。詳細なスケジュールが決まりましたら、利用者への周知を図ってまいります。
商工会議所、大学、金融機関及び大阪労働局等と連携し、市内外の大学生等を対象とした「就職説明会」や「企業説明会」等を開催し、若い世代に対して魅力ある市内企業の情報発信や、企業との出会いの場の創出に取り組みます。	吹田商工会議所、金融機関、大阪労働局並びに大学と連携をし、「吹田合同企業説明会」や「吹田市わかもの就職説明会・面接会」を開催し、市内外の大学生をはじめとする若者と市内企業のマッチングを図り、市内での就職促進の創出に努めました。
吹田市農業振興研究協議会と連携し、地元の農家が生産した農作物の地産地消を推進するため、吹田市内での朝市の実施に取り組みます。	地産地消の推進のため、定期的に朝市の実施を行いました。また、今年度は南吹田駅開業イベントにも出店し、市民への周知を図りました。



達成目標	達成状況	達成度
<p>事業者や経済団体をはじめ様々な組織と連携し、「吹田市商工振興ビジョン2025」、本市産業振興施策等の周知を図り、ビジョンの取組を確実に進めることで産業の発展に努めます。</p>	<p>本市の産業振興施策を推進する指針となる吹田市産業振興条例に基づくビジョンの実現を図るため、市内企業や経済団体への訪問等により、産業施策の方針の周知を図りました。また、吹田市商工業振興対策協議会において、進捗管理を行っています。</p>	<p>A 達成</p>
<p>中小企業の実態及びニーズの把握を行い、本市の産業施策への反映に努めるとともに、国や大阪府との制度と連携し、中小企業の発展を図ります。</p>	<p>企業訪問、経済団体との懇談会、吹田市商工業振興対策協議会等において、実態及びニーズの把握を行い、ニーズの高い事業の充実を図ってきました。また、国の制度と連携し、中小企業の生産性向上を支援する取組も行っています。</p>	<p>A 達成</p>
<p>企業誘致を推進する制度の活用促進を図ることで、新たな企業の誘致及び市内企業の市外移転防止並びに雇用の拡大に努めます。</p>	<p>企業立地促進条例について、本市における事業所の立地環境により応じた制度とするため条例改正を行い対象地域を拡大し、新たな企業の誘致や雇用拡大を図っています。</p>	<p>A 達成</p>
<p>求職者の状況を踏まえた求人開拓と適切な職業紹介によって、マッチング率の向上を図り、採用後の定着状況を確認するなど継続した支援に努めます。 また、勤労者会館利用者懇談会などを通じて利用者の利便向上に努めます。</p>	<p>求職者のニーズや動向を踏まえた求人開拓を実施するとともに、求職者の個々の状況に応じた職業紹介を行なうことで、マッチング率は30.5%となりました。引き続きマッチング率の向上に努めます。採用後においても定着確認を行い、離職の事実を把握した場合は再就職支援を行いました。 勤労者会館については、利用者懇談会に参加するとともに指定管理者と協力をして利用者の利便向上に努めました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>市内外の大学生等の市内企業への就職につながる取組を進めることで、若い世代の本市への定着を図り、雇用と定住の促進に努めます。</p>	<p>吹田商工会議所、金融機関、大阪労働局並びに大学と連携による「吹田合同企業説明会」や「吹田市わかもの就職説明会・面接会」を開催し、市内外学生をはじめとする若者に対し、市内企業の認知度を深めマッチングの推進に努めることができました。今後も本市企業の魅力発信やマッチングの場を創出し、就職支援施策を進めてまいります。</p>	<p>A 達成</p>
<p>朝市を定着させるため、定期的な開催に努めます。</p>	<p>豊津公園にて開催している「江坂朝市」は、本年度から産業フェアと日程が重複する5月を除き、毎月第二日曜日の開催を実施しました。</p>	<p>A 達成</p>

総合評価・総括
<p>産業振興施策を推進する指針となる「吹田市商工振興ビジョン2025」に基づき、各施策を実現・検証するPDCAサイクルを確実に実行することにより、地域経済の循環及び活性化が実現できると考えています。 就労支援施策については吹田商工会議所、金融機関、大阪労働局並びに大学と連携し、企業説明会や面接会を開催しました。JOBナビすいたでは求職者の状況を踏まえた求人開拓、職業紹介を行うことで、きめこまやかな支援に努めました。 農業振興施策については、農作物の地産地消を推進するため、定期的に朝市を開催しました。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 2	商店街等の活性化
--------	----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	商業団体、地域住民等との協働により、人が交流し、安心して買い物ができ、地域コミュニティの向上など公共的役割を積極的に担う商店街等を支援し、地域住民のニーズや地域課題、地域の特性に応じた魅力ある商業地づくりを進めます。
---------------------	--

活動目標
活性化に取り組む商店街等との協働により、商店街が地域コミュニティの核となり、個店の魅力向上を図り、地域になくならない魅力ある商業地づくりを進めます。
商業関係者との意見交換などを通して、商店街等が抱える課題の抽出やニーズの把握に努めます。

具体的な取組実績
JR吹田駅南立体駐車場跡の利活用について、NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会において設置されたコミュニティスペースの広報など支援を行いました。他の地域においても、商店街等を中心とする活性化に向けた協議の場へ参画し、意見交換・情報提供などを行いました。
JR吹田駅エリアについては、大阪府の事業を活用し、エリアの価値向上を目指し、地元商店主を中心に今後の方向性について意見交換を密に行いました。

達成目標
JR吹田駅南前立体駐車場跡の利活用については、商店街の活性化に資する取組となるよう引き続き支援を行います。また、再生に向けた取組を行うニュータウン近隣センターに対して、関係部局と連携し継続した支援を行います。
商店街等の現状把握に努め、空き店舗活用事業の促進など地域の特性に応じた支援を行います。

達成状況	達成度
NPO法人JR吹田駅周辺まちづくり協議会により設置されたコミュニティスペースの活用について、広報などの支援を行いました。また、竹見台及び桃山台近隣センター再生に向けたまちづくりを進めるため関係部局と連携し、情報共有に務めながら継続した支援を行いました。	A 達成
JR吹田駅南エリアまちなかりブランディング戦略を策定し、地元商店街の店主をはじめとする有志グループを中心に今後もエリアの期待値を高める取組に対し支援を行います。また、空き店舗を活用した出店に対し補助を行いました。	A 達成

総合評価・総括
JR吹田駅周辺地域については、大阪府の事業を活用し策定したJR吹田駅南エリアまちなかりブランディング戦略に基づき、エリアの価値向上を目指して事業者の方々とは意見交換等を行い、新たな事業に取り組みました。今後も引き続き有志グループにより、継続して事業を実施されます。これまでとは違った視点を持ちながら活動される様々な事業に対して支援を行ってまいります。
千里ニュータウン地域については、千里北地区センターや竹見台・桃山台近隣センターの再整備に向けた取組について関係部局と連携し支援を行っています。他の地区においても現状を把握し、今後の活性化に向け地元商店街等と協働による取組と効果的な支援を行ってまいります。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

**重点課題 3 シティプロモーションの推進**

全体の達成度  
**A**  
達成

目指すべき方向  
(中期的な目標)  
吹田市シティプロモーションビジョンに基づき、職員一人ひとりがシティプロモーションを担当するという意識を高めるとともに、市民にとって市に対する愛着や誇りが醸成される取組を進めます。

**活動目標**  
若手職員を中心としたシティプロモーション提案プロジェクトチーム「enZINE (エンジン)」を更なる充実を図り、従来の組織枠を越えたクロスファンクショナル(機能横断型)チームを構築し、フレキシブルな活動が実施できる体制を整えます。  
平成29年度にNTT西日本と締結した「ICTを活用したシティプロモーション推進に関する連携協定」に基づき、庁内関係部局と連携しながらICTを活用したシティプロモーション事業の展開を図ります。

**具体的な取組実績**  
新規採用職員を含めた15人のメンバーによる第3期の「enZINE」として、「映像制作」・「写真撮影」・「グッズ企画開発」・「独自の企画」の4グループで活動し、平成31年2月には各グループによる成果発表会を実施しました。  
NTT西日本及び庁内関係部局との連携によりプッシュ型の情報発信機能を備えた吹田市ポータルアプリの開発に取り組みました。

**達成目標**  
「enZINE (エンジン)」の企画を関係部局と調整し、その実現を図ります。  
市民生活の利便性向上を目指したポータルアプリの開発や位置情報サービスを活用した市の魅力の情報発信を実施します。

達成状況	達成度
「enZINE」の実績としてSNS用動画「すいたんチャレンジ」の作成、SNSパネルの作成、正面玄関ロビーのフォトスペースの企画が関係部局等との調整を経て実現に至り、報道等でも広く取り上げられました。	<b>A</b> 達成
吹田市ポータルアプリの運用により居住地別のごみ収集日をはじめとする様々な行政情報のプッシュ型発信が可能となりました。	<b>A</b> 達成

**総合評価・総括**  
平成28年度に策定した吹田市シティプロモーションビジョンに基づき、SNSによる動画の発信やフォトスペースでのイベントの実施など関係部局との連携により、市民にとって本市への愛着や誇りが醸成される具体的な実績を積み重ねてきました。  
今後も全庁一丸となってシティプロモーション事業の推進に取り組む機運の醸成を図り、様々な事業者や大学等との連携による効果的、効率的な事業の実施に努めます。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 4	情報発信プラザ（Inforestすいた）を拠点とした都市魅力の発信
--------	-----------------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	日本最大級の大型複合施設であるEXPOCITY内にある恵まれた立地条件を最大限活用し、本市の多彩な都市魅力を発信していきます。
---------------------	---

活動目標
ららぽーとEXPOCITYのイベント広場を活用したPRイベントを開催します。
情報発信プラザ（Inforestすいた）での定期的なフェアの開催など魅力ある施設づくりを進めます。

具体的な取組実績
EXPOCITYの事業主である三井不動産（株）や関係機関と連携し、平成30年7月と11月にPRイベント「すいたEXPO」を開催しました。
関係機関の協力のもと、本市の特性を紹介する展示フェアを11回開催しました。このほか、絵画コンクール応募作品や有名アーティスト作品の展示、すいたん絵馬コーナーを設置しました。

達成目標
EXPOCITY内の施設との連携や市内の事業者や大学などにも参加・参画いただき、本市の都市魅力を訴求するPRイベントを開催し、地域経済の活性化を図ります。
フェアと連動した企画や魅力ある取組とすることで更なる来場者数の増加を目指します。

達成状況	達成度
「すいたEXPO」では施設内の店舗をはじめ、ガンバ大阪、大学、病院など関係機関と連携しながら、「スポーツ」「健康・医療」など本市の多彩な魅力をPRすることができました。	A 達成
フェア内容に関する商品販売やコスプレ体験、鉄道車両基地見学を副賞とする絵画コンクール開催など魅力ある取組を実施し、来場者の増加に努めました。	A 達成

総合評価・総括
<p>展示フェアではガンバ大阪、鉄道事業者、大阪大学、国立民族学博物館などと協働して取り組み、内容の充実と様々な層への訴求力向上に努めました。また、多くのニーズに対応できるよう、事業運営委託事業者による太陽の塔や市イメージキャラクター関連商品の販売、観光マップや情報紙のほかマンホールカードなどを配布しました。</p> <p>このような結果、平成30年度の本プラザ来場者数は413,818人となり、平成29年度の395,393人と比較しても、さらに大勢の方にご利用いただくことができました。なお、EXPOCITY内イベント会場でのPRイベントも多くのご好評をいただいております。本プラザを拠点とする都市魅力がしっかり発信できたものと考えます。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 5	吹田まつり
--------	-------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	吹田の夏の風物詩として開催されてきた吹田まつりは、平成31年には、第50回の節目を迎えます。継続されてきたまつりを次の世代につなげるため、市民に一層愛されるイベントとしていきます。
---------------------	--

活動目標
吹田まつり実行委員会と協働し、第49回吹田まつりを盛大に開催します。
第50回の節目に向け設置した「魅力アップ検討委員会」と協働し、方向性や企画内容を検討します。

具体的な取組実績
第49回吹田まつりが市民が喜ぶまつりとして盛大に開催できるように各会場検討し、準備を進めました。
第50回の実施内容に関する提案を実施するとともに、平成32年度以降のまつりの在り方に関する検討を進めました。

達成目標
新しい取組やこれまでの企画も大切に、様々な世代に愛される吹田まつりを目指します。
新しい視点や発想を取り入れ、第50回吹田まつりやそれ以降のまつりの方向性を定めま
す。

達成状況	達成度
台風12号の影響により暴風警報が発令されており来場者や出演者等の安全確保の観点から江坂会場は一部実施、千里南会場、本祭り会場は中止としましたが、吹田まつり開催に向けて新しい取組やこれまでの企画を融合したまつりの準備を進めました。	A 達成
第50回吹田まつりの企画や平成32年度以降のまつりの在り方について例年にとらわれることのない検討を行い、新たな企画等の提案を吹田まつり実行委員会に対して行いました。	A 達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>第49回吹田まつりに向けて新しい取組や従前企画の改善を行いました。が、台風12号の影響により中止となったため、新しい取組や改善内容について検証ができませんでした。</p> <p>第50回やそれ以降のまつりについては新たな視点や発想を取り入れた検討を進め、平成31年度以降のまつりの方向性の案をまとめました。今後もより魅力的なまつりとなるよう様々な検討を進めてまいります。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 6	大学連携
--------	------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	本市に所在する5大学・1研究機関との連携をさらに推進し、知的・人的資源の交流の場を提供することにより、市民や学生に地域への関心・愛着を深めていただくことを目指します。
---------------------	---

活動目標
各機関との連携協議会を開催するとともに、連携事業に関する情報・ニーズの集約に努め、情報共有及び交流活動を推進します。

具体的な取組実績
関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学との連携推進協議会を8回(各2回)実施し、意見交換や情報共有を行いました。

達成目標
各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報力、施設などをまちづくりの各般で生かし、双方の発展につなげます。

達成状況	達成度
各大学・研究機関との連携推進について、概ね計画通りに進めることができました。団体・事業者とも連携を図るなど、良好な協力体制を構築できています。	A 達成

総合評価・総括
本市には5つの大学と1つの研究機関が立地し、名実ともに「大学のあるまち」となっています。各機関が有する知的・人的・物的資源や学生の活力は、行政課題の解決や地域の活性化に大きく貢献するなど、まちづくりには欠かすことができない要素となっており、ひいては本市のブランド力をけん引する力を持つ大きな存在です。引き続き、連携強化に向けた検討を進めてまいります。



部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 7	生涯スポーツ社会の実現
--------	-------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の環境づくりを目指します。スタジアム内外においてガンバ大阪を応援する団体等との連携を図り、ガンバ大阪と触れ合う機会を増やし、ホームタウン意識や「ガンバ大阪のあるまち」としてのふるさと意識の醸成を図ることにより、スポーツ文化の推進や地域の活性化を目指します。
---------------------	---

活動目標		具体的な取組実績
実践的なスポーツ指導者の育成を図ります。	→	社会体育リーダー養成講座の開催（21回） 高齢者スポーツ養成講座（2回） 競技スポーツ養成講座（20回） 地域スポーツ指導者研修会（29回） 小学校体育授業サポート（4回） ココカラsuitableキッズセミナー（11回） 産学官連携ガンバ大阪ジュニアスクールコーチ研修（4回） 地域スポーツサポート（6回）
健康寿命延伸に向けた運動習慣化の支援を行います。	→	保健センターとの連携による運動の講義と実技（51回） ノルディックウォーキング体験（2回） 市民スポーツ講座（2回）
全市をあげてガンバ大阪を応援する気運を高めるため、スタジアムやガンバ大阪と触れ合うことのできる機会の創出を図ります。	→	市民ふれあい事業（1回） パブリックビューイング（1回） J1リーグ市民招待（9試合） ガンバ大阪派遣事業（小学校17校、幼稚園13園） ガンバ大阪のあるまち推進事業（3事業）
市民がスポーツ施設を安心、安全に利用できるように、整備を行います。	→	南吹田市民体育館トレーニングマシン（有酸素）更新 目黒市民体育館トレーニングマシン（有酸素）更新 総合運動場トレーニングマシン（ウエイト）更新 総合運動場改修に係る実施設計 片山市民プール幼児用変形プール防水シート改修 大阪府北部地震、台風12・21号等被害に係る復旧業務

達成目標	達成状況	達成度
スポーツ指導者の指導技術の向上を図るため、スポーツ指導者研修会を実施します。	→	社会体育リーダー事後研修会や競技スポーツ指導員事後研修会、地域サポート（研修編）で、ノルディックウォーキングやニュースポーツ、競技スポーツ等の指導力の向上を図りました。 また、千里金蘭大学及びガンバ大阪と連携して、保育士や幼稚園、小学校教諭等を対象にしたココカラsuitableキッズセミナーを開催しました。
		A
		達成

達成目標	達成状況	達成度
<p>ウォーキングやノルディックウォーキングの継続した普及に努めるため、スポーツ関係団体との連携を強化し、より効果的な事業を展開していきます。</p>	<p>市民スポーツ講座では、ウォーキングを安全に継続して取り組んでいただけるよう、「セーフティウォーキング」の講義と実技を開催し、延べ38名の参加がありました。体育振興（協議）会に委託している地区行事においても、ノルディックウォーキングを積極的に取り入れてもらい、その普及に努めました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>ホームタウン意識や「ガンバ大阪のあるまち」としてのふるさと意識の醸成を図るため、ガンバ大阪や指定管理者、ガンバ大阪を応援する団体等との連携をさらに強化し、J1リーグ市民招待事業、ガンバ大阪派遣事業、補助金交付事業など、より効果的な事業を展開していきます。</p>	<p>市民ふれあい事業では、小学4年生をスタジアムに招待し、元プロサッカー選手の講話、スタジアム見学、サッカー体験、段ボールベッド組立等を行い21校、1,879人の参加がありました。パブリックビューイングでは、スタジアムにおいてガンバ大阪アウエー試合を巨大エアスクリーンで観戦応援し、1,500人の参加がありました。J1リーグ市民招待では、小中学生と保護者ペア2,600組及び障害がある児童・生徒、大学生、新成人1,062人を無料招待しました。ガンバ大阪派遣事業では、小学校17校、幼稚園13園が参加し、ガンバ大阪アカデミーコーチによるサッカーボールを使った運動指導を実施しました。補助金交付事業については、一般社団法人ガンバ大阪吹田後援会が実施する大人のサッカーフェスタ、講演会、パブリックビューイングの3事業に対し補助金を交付しました。</p>	<p>A 達成</p>
<p>老朽化の進むスポーツ施設に対して、計画的に施設整備を行い、安心、安全、快適な環境を整えます。</p>	<p>スポーツ施設において、著しく老朽化が進んでいるなど安全面の観点から緊急性の高いものに加え、大阪府北部地震や台風12・21号等による被災に係るものを優先的に維持補修を行いました。</p>	<p>B 一部達成</p>

総合評価・総括
<p>各種スポーツ指導者の養成講座や研修会を実施することで、スポーツ指導者のスキルアップが図られました。また、「ココカラsuitableキッズ事業」ではガンバ大阪及び千里金蘭大学との産学官連携セミナーを開催し、身体あそびを通じた子どもの育ちに関する取組を実践することができました。保健センターとの取組では、生活習慣の改善が必要な方への運動のサポートや、妊産婦への運動の講義等を実施し、運動習慣の必要性についてそれぞれの対象に合った啓発や推奨ができました。これからも地域住民の方が、生涯にわたって運動に取り組んでいただけるよう、地域諸団体と協力しながら健康寿命の延伸に向け、取り組んでまいります。平成30年1月から、市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツを実施しており、そのネーミングライツの対価を活用して、これまで実施してきた市民ふれあい事業やパブリックビューイング以外にもホームタウン意識やふるさと意識の醸成を図るための事業を実施することができました。</p>

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 8	(仮称)吹田市文化芸術推進基本計画の検討
--------	----------------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	社会経済環境の変化がある中で、教育、福祉、青少年育成など様々な政策分野における文化芸術の振興を総合的に推進するために、新たに「(仮称)吹田市文化芸術推進基本計画」の検討を進めます。
---------------------	--

活動目標
計画策定の準備として、市民、芸術文化活動団体、学校、幼稚園等にアンケートを行うなどニーズや課題の把握に取り組みます。
現行の文化芸術振興に関する施策の検証や課題の分析を行います。

具体的な取組実績
市内施設利用者、文化団体、小中学校、幼稚園でのアンケート調査に加え、関西大学の学生対象にアンケートを実施しました。その結果を文化振興審議会に報告し、意見をいただきました。
現行の吹田市文化振興基本計画に係る主な事業の成果と課題を取りまとめ、文化振興審議会に諮り、意見をいただきました。

達成目標
計画策定経過の中で、文化芸術に関わる団体相互の連携の強化を図り、文化芸術に係る取組の充実を図ります。
文化芸術に関する取り組みを充実させるための支援などの環境整備に関する課題や方策について検討します。

達成状況	達成度
文化芸術に関わる団体が協働して、国際交流などの分野で新たな催しを開催することで、団体相互の連携の強化と、伝統文化の持つ魅力の発信に貢献しました。	A 達成
各種アンケートの実施により、既に市内施設を利用している市民の意見を抽出することはできましたが、さらに不特定多数の市民の意見をお聞きし、課題や今後の方策について検討を進めていく必要があります。	B 一部達成

総合評価・総括
様々な分野の施策において文化芸術を活かし、文化芸術活動の充実について総合的に推進するために、市民意見を集約し、課題解決と今後の方向性について、さらに検討を進める必要があります。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 9	文化芸術の振興
--------	---------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民の幅広い文化芸術活動を支援し、新たな市民文化の創造と地域文化の継承・発展に向けた環境づくりを目指します。
---------------------	--

活動目標
(公財)吹田市文化振興事業団、吹田市文化団体協議会をはじめとする文化団体等と連携し、市内各所で市民文化の醸成と地域文化の継承・発展のため、効果的な支援を行います。
歴史文化まちづくり協会と連携し、歴史文化まちづくりセンター事業のより一層の充実を図ります。

具体的な取組実績
吹田市文化団体協議会との共催では継続して開催している市民文化祭行事に加え、「文化で国際交流」や「アンダー18歌謡発表大会」などを開催しました。にぎわいライブでは新たにニュータウンプラザを会場として開催しました。また、個人での参加も含め幅広く参加の機会を設けた芸術芸能フェスティバルでは参加者を増やし開催しました。
郷土史講座、能楽囃子など、例年同様、伝統芸能に親しむ事業を行うとともに、ジャンボ将棋まつりを充実させるなど子供たちにも親しんでいただける事業に取り組みました。

達成目標
子供たちをはじめ、より多くの市民が文化芸術に親しみが持て、身近に感じられるような、参加・体験型事業を通して市民の文化意識の向上を図ります。
市民が気軽に歴史や文化に親しめるよう地域の文化的資源の活用を図ります。

達成状況	達成度
市民文化祭では、主催各団体の創意工夫により、「文化で国際交流」や「アンダー18歌謡発表大会」などの新しい企画に取り組み、文化体験コーナーを充実させ子供や市民参加を広げ実施することができました。	A 達成
歴史文化まちづくりセンター開設15周年を記念して、江戸時代の風情を保つ本施設にて薪能を実施し、チケットが完売するなど好評を得ました。また、近年増加する海外からの観光客に対応するため、英語版のチラシを作成、配布しました。	A 達成

総合評価・総括
市民文化祭の一環として「文化で国際交流」や「アンダー18歌謡発表大会」を開催したほか、ジャンボ将棋まつりを充実させるなど、子供や外国人も文化活動に参加できる機会を増やすことで、新たな担い手を発掘することにつながりました。

部(局)名	都市魅力部
-------	-------

重点課題 10	多文化共生社会の実現
---------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「吹田市多文化共生推進指針」の目標である、全ての市民が国籍や民族、文化の違いを認め合い、人権が尊重され、対等な地域社会の一員として共に暮らすことができる多文化共生社会の実現を目指します。
---------------------	---

活動目標	具体的な取組実績
「吹田市多文化共生推進指針」の策定の意義等を周知するため、市民や職員に対し啓発に努めるとともに、進行管理にあたり学識者等の意見を聞く場を設けます。	「吹田市多文化共生推進指針」の啓発とあわせ、同指針に基づき庁内各室課の取組み状況調査を行いました。 また、平成30年10月、有識者等による「吹田市多文化共生推進アドバイザー会議」を開催し、施策等の進め方について、意見や助言をいただきました。
行政窓口において、外国人市民等が安心して手続き等が行えるよう通訳者を送るための事業を行います。	「吹田市多文化共生推進指針」にある【推進すべき施策の方向性・行政サービスの充実】に基づき、「吹田市行政通訳窓口同行事業」を開始しました。

達成目標	達成状況	達成度
「吹田市多文化共生推進指針」の策定の意義等を広く市民に知らせることで、同指針の内容を浸透させ、理解を深めることを目指します。	市のホームページに「吹田市多文化共生推進指針」の原文及び、外国籍市民向けに漢字によみがなをつけたものを掲載し、自由に閲覧できるようにしました。	A 達成
行政窓口通訳同行事業を実施し、外国人市民等がスムーズに手続きや相談ができるようなシステム作りに取り組みます。	「吹田市行政通訳窓口同行事業」の開始により、外国人が行政機関において各種手続きや相談を行う際、通訳者が同行することで、利用者が必要とするサービスを提供することができました。	A 達成

総合評価・総括
「吹田市多文化共生推進指針」を策定後、具体的な施策として「吹田市行政通訳窓口同行事業」をスタートさせたことは大きな成果と考えます。同事業のより一層の充実を図るとともに、同指針を基に組織横断的な事業が実施されるよう取り組んでいきます。